分類番号
130

テーマ別調べ方ガイド

Paste ぱすて ぷらす

哲学（西洋哲学・哲学史）について調べる

★ 関連授業科目

哲学基礎

文学部
第１・２セメスター

「Paste（ぱすて）」とは？

ぱっと分かって、**す**っと頭に入る、**テ**ーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント（TA）による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

発行：2013 年 1 月 31 日
総合図書館 B 棟 2F 参考調査・利用支援カウンター
作成：文学研究科 TA

1. イントロダクション

1－1. 「哲学」とは？

哲学を定義することは難しいが、辞書的な意味で言えば「世界・人生などの根本原理を追求する学問」（小学館『デジタル大辞泉』）となる。時代・地域によって哲学のアプローチは様々であり、一つだけ思想を取り出しても全体を理解することは難しい。従って、歴史的な繋がりや背景を抑えておくことが望ましい。こうした作業が哲学史に属する。

1－2. 学習するにあたってのポイント

哲学の言説はともすると常識外れな、あるいは単に荒唐無稽なものと見られがちである。学習にあたりまず注意すべき点は、このイメージに引き摺られないこと。現代の視点から見れば（特に現代科学の知見から言えば）これらが誤りであるという主張は無論ありうるが、しかし哲学的思考の意義は必ずしも科学的事実との一致によって測られるべきものではない。

哲学者と呼ばれる人々が時代の中で己がものとしていた、そうした問題意識を一旦は受け取り、彼らの思考をたどってみてほしい。そうすることで様々な主張を相対化し、理解していくことが哲学を学ぶ第一歩となる。

1－3. 一般向けに書かれた資料・読み物

- 哲学の歴史（中央公論新社　全 12 巻+別巻）【書誌 ID= 2003722794】
  著名な哲学者のほとんどについて、その伝記と思想が載せられており、簡単な確認の為におすすめできる。
- 講談社選書メチエ；511-514．西洋哲学史（全 4 巻）【書誌 ID= 1003006868】
  西洋哲学史を扱ったものとしては直近のシリーズ。教科書的な知識の叙述ではなく、哲学史において扱われてきた問題を主題とするため、読み物としても面白い。
- 現代思想の冒険者たち（講談社　全 31 巻）【書誌 ID= 2003339045】
  20 世紀を代表する哲学者達の思想を一人につき一冊の形で紹介している。各巻が独立しており、専門的な議論も扱われている。少し踏み込んだ内容を知りたい人に。
- シリーズ・哲学のエッセンス（日本放送出版協会　全 23 巻）【書誌 ID= 2003535131】
  哲学者を一人ずつ紹介していくシリーズ。思想の内容を紹介するとともに、それに対する著者の読解が提示されている点が特色。分量的にも簡単に手に取ることができる。

2. 学習用資料

2－1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

専門の学習用資料として書かれた書籍は少なく、実質的には 1-3 に挙げた一般向け書籍が入門者用のそれにあたる。ここでは比較的分量の少ないものを紹介しておく。

■ 岩波哲学小辞典 / 粟田賢三, 古在由重編 【書誌 ID= 2002079145 購入予定】

■ 哲学基本事典 : 哲学入門 / 里見軍之,飛田就一編 第 4 版 【NCID= BN07668559】
いわゆる小事典。必ずしも網羅的ではないが、専門用語の意味や歴史的な変遷の確認に便利。

■ 西洋思想大事典 / フィリップ・P. ウィーナー編 【書誌 ID= 2002483978】
邦文で読める事典では最大級のもの。但し、必ずしも網羅的ではなく、やや使いづらい印象がある。

■ 古代から中世へ / 熊野純彦 (岩波新書 ; 新赤版 1007 . 西洋哲学史)
【書誌 ID= 2003680694】

■ 近代から現代へ / 熊野純彦 (岩波新書 ; 新赤版 1008 . 西洋哲学史)
【書誌 ID= 2003694608】
比較的簡単に読める新書形式の本。哲学史を手短に抑えられる。

■ 西洋哲学史 (ミネルヴァ書房 全2巻)【書誌 ID= 1003011633】
こちらは古代から近代を扱ったシリーズ。単なる入門書と比べれば分量はやや多くなるが、扱われる範囲も広く、記述もより詳細になっている。入門の二冊目に。

2－2. 最初に読むべき資料: 教科書・古典

専門語が多く用いられている中、比較的読み易いものを挙げる。日本語の教科書は少ないが、1-3 に挙げた資料が代わりになる。

■ 哲学入門 / バートランド・ラッセル著 (ちくま学芸文庫 ; [ラ-4-1]) 【書誌 ID=2003640598】
ラッセルは数学者として知られているが、哲学にも多くの業績を遺している。高名な哲学者が著した入門書で、さらに邦訳されているものとなればこれが挙がるだろう。また、ラッセルは別に『西洋哲学史』という大著も遺している。

■ 西洋哲学史 / シュヴェーグラー (岩波文庫 ; 青-11-12, 青(33)-636-1-2, 2085-2090)
【書誌 ID=2003190799】
著者は 19 世紀前半のドイツ人。19 世紀後半とそれ以降は扱われていないため不便さはあるが、哲学史研究の古典として代表的な著作。

哲学史の他で、比較的読み易い古典文献は以下の二つ。

■ ソクラテスの弁明 ; クリトン / プラトン著 (岩波文庫 ; 青-102, 青(33)-601-1, 10)
【書誌 ID=2003200061】
最も著名なギリシャ古典の一つ。内容も親しみやすい。

■ 方法序説 / デカルト著 (岩波文庫 ; 青(33)-613-1) 【書誌 ID= 2003220366】
近代合理主義の出発点、デカルトの著作。現代にも多大な影響を遺し続ける、思考の源流に触れることができる。

2－3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

最新の情報は論文で公開されることがほとんど。国内外の研究者の論文は以下に情報がある。

- CiNii（https://cir.nii.ac.jp/）
- Philpapers（https://philpapers.org/）

2－4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

これまでに紹介したものに準じる。

2－5. 有用なナビゲートツール：ブックガイド・リンク集

- Stanford Encyclopedia of Philosophy（https://plato.stanford.edu/）
  スタンフォード大学が公開している Web 上の哲学辞典。当然英文だが、専門的な内容にも踏み込み、多岐に渡って詳細な議論を紹介している。

3. レポート・論文執筆用資料

3－1. 有用な検索キーワード

ここまでに紹介したとおり哲学の領域は非常に広範に渡るため、キーワードを一概に指定できない。講義の関連項目を調べるならば講義のキーワードを、また個人的な学習のためならば上記の入門書等からキーワードを選び出すことが望ましい。

3－2. 二次資料類：検索サイト・書誌索引

1、2で紹介したものに準じる。

3－3. 一次資料類：史料集・全集・統計集・ファクトデータ集

欧文原著を読んで見たい時に。

- Open Library（https://openlibrary.org/）
  著作によってはブラウザで原著を読むことができる。PDF 等でのダウンロードも可能。原本の入手が困難な古書も閲覧できる。
- Wikisource（https://en.wikisource.org/wiki/Main_Page）
  「ウィキペディア」の姉妹プロジェクト「ウィキソース」。フリーの電子テキストの収集を行っている。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」（10桁の数字）の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC（蔵書検索システム）が検索できます。

テーマ別調べ方ガイド Paste ぱすて ぷらす